

SPRING GAME 1th 2024年4月27日(日)K.O16:30: 関西大学中央グラウンド 天候:曇り

チーム名	1Q	2Q	3Q	4Q	TOTAL
関西大学 KAISERS	17	0	13	7	37
明治大学 GRIFFINS	0	7	0	7	14



■試合開始前 撮影 近藤さん

1Q

開始早々から関大QB須田の強力オフェンスが止まらない。立ち上がりから全てのシリーズで得点を奪われ 0-17。
 一方、明治オフェンスはスナップミスやパスのタイミングが合わず、ちぐはぐなスタートで前進できず、パントを繰り返す。

2Q

#34 廣長(4年生)のラン,#15新楽(3年生)のミドルパスでつなぎ、相手陣まで攻めるも二回目のファンブルで攻撃権を失ってしまう。しかし守備陣がここから奮起。
 #9守屋(4年生)がDLに着いたとたんディフェンスのリズムが好転。ゴール前まで攻められるもFG失敗で追加得点を与えず2Qは関大攻撃を0点に抑え込む。
 前半終了間際にはフォースダウンギャブルからのロングパス(≒45ヤード)を#89金子(3年生)がキャッチしタッチダウン!!!
 7-17で前半を折り返す。

3Q

何とか食らいつきたい明治だが後半開始から関大攻撃が更にスピードを増し、あっという間に2本のTDを取られてしまう。攻撃も前半同様リズムに乗れないシリーズが続く。

4Q

試合終了間際の攻撃では、テンポのいいパス攻撃を展開。#87佐藤(3年生)へのミドルパス。#2後藤(2年生)へのロングパスでゴール前まで進むと最後は残り2ヤードから#89金子(3年生)#77大木戸(3年生)の完璧なブロックから#34廣長(4年生)がゴールに走り込みタッチダウン14-37で試合終了となる。

今年の優勝候補筆頭である関西大学との試合は完敗ではあったが新チームは始まったばかり。主力選手を欠く中、チーム全員で関大に挑んだ一戦。強豪校の対戦となった選手たちには、スキルアップする為の良い経験になったはず。関大戦を秋に向けての糧にしてほしい。

今年のグリフィンズ初戦は、学生No1QBの須田選手が率いる関西大学との一戦。



■試合開始前 撮影 近藤さん



■試合開始前 撮影 近藤さん



◆関大戦を振り返って

関大戦にて、幹部を中心に選手、学生スタッフ、コーチ陣にインタビューを実施しコメントを頂きました。ご協力頂きました皆様、誠にありがとうございました。

◆インタビュー #6 主将 深尾 (LB)



■2024年度の初戦の感想。

自分たちとしてもミスが多く、まだまだ修正していかなければと思いました。

■関西大学と対戦した印象。

自分たちでペースを作れていて凄いなと感じました。

■試合での、良かったところ。

要所でいいプレーが出来たところです。

■試合での、悪かったところ。

試合中にアジャストしきれなかったところです。

■5月5日立教戦への意気込み。

秋にも当たる相手なので勝ちにこだわりたいです。

◆インタビュー #34 副将 廣長 (RB)



■2024年度の初戦の感想。

昨年、関西チャンピオンの関大相手に新チームとして望みましたが、現時点の自分たちの実力の低さと関西のレベルの高さを肌で感じました。

■関西大学と対戦した印象。

関大は個々のレベルが高く、試合の勝ち慣れをしている印象でした。また、勝負どころを全員が理解しており大事な場面で確実にいいプレーで繋げる強さを感じました。

■試合での、良かったところ。

日本一を目指すチームのレベルの高さと、現時点の取り組みの甘さを感じれたところです。

■試合での、悪かったところ。

関西の強敵に自分たちのリズムでプレーができなかった。また普段の練習の詰めの甘さが、全てプレーに出たと考えています。

■5月5日立教戦への意気込み。

去年は東京ドームで苦しくも破れてしまった相手なので、勝ちにこだわります。応援よろしくお祈り致します。

◆インタビュー #57 副将 宮本 (OL)



■2024年度の初戦の感想。

自分の思い通りの試合展開に持っていかなくて悔しいの一言に尽きます。自分の思い通りにいかなかった時の焦りでパフォーマンスが落ちてしまい、自分の弱さが出てしまった。

■関西大学と対戦した印象。

やっぱり去年の関西1位のチーム。一人一人のファンダメンタルや王者というオーラが出ていてそこに圧倒されている自分たちがいました。

■試合での、良かったところ。

1対1で勝っている場面があったところと、経験を活かしてしっかり後輩の補助ができたことです。

■試合での、悪かったところ。

周りのことを気にしすぎて、自分のいつものパフォーマンスができず、完全燃焼できなかったことです。

■5月5日立教戦への意気込み。

去年の東京ドームでの、あの悔しさをバネに今年で練習に取り組んできました。ついにそれを爆発させる機会が来たので、とことん暴れます。



◆インタビュー #25 副務 井上 (RB)



■2024年度の初戦の感想。

1年半ぶりの試合ということで、試合感を取り戻すのに苦労しました。チームとしては初の試合が関西遠征ということで、フワフワしていた部分もあり、自分たちの役割を徹底しなければいけないと思いました。

■関西大学と対戦した印象。

集まりがはやく、一線を抜けるのに苦労しました。自分の役割を徹底していて、スピード感が関東とは違うものがありました。

■試合での、良かったところ。

久しぶりの試合だったが、ミスなく高いレベルを楽しむことができました。

■試合での、悪かったところ。

相手のペースに飲み込まれ、自分たちのプレーをすることができなかった。試合の流れをしっかり把握して臨むことができなかったことです。

■5月5日立教戦への意気込み。

去年の秋、自分がプレーできない中であるような負け方をとても悔しい思いを持っているので、自分のランで引っ張って、絶対勝ちます。

◆インタビュー #9 守屋(4年生)(DL)



■2024年度の初戦の感想。

最上級生としてプレッシャーを感じながらも、純粹に試合を楽しみながらプレーする事ができました。結果を素直に受け止め、一歩ずつ成長し、強いチームを作っていきます。

■関西大学と対戦した印象。

ひとりひとりが勝利する為に淡々と自分の役割を遂行している姿が印象的でした。昨年対戦した立命館大とも違った空気感、雰囲気を感じました。

■試合での、良かったところ。

試合未経験の選手を多く出場させることができ、関西トップチームと戦えた事は大きな収穫になったと思います。

■試合での、悪かったところ。

各ユニットの完成度や、チームとしての一体感という所で圧倒的な差を感じました。また、全員がチャレンジャーとして、勝利に対して執着心をもって試合に臨む姿勢が足りなかったと感じました。

■5月5日立教戦への意気込み。

去年のドームでの悔しさをパワーに変え、ビッグプレーでチームを引っ張ります！

◆インタビュー ASスタッフ 清本(4年生)



■2024年度の初戦の感想。

オフェンスを始めとしてチームの現状に危機感を感じる結果となりました。昨年から出場している選手が多い中で、今年はいけるだろうという根拠のない自信、慢心が少なからずありました。今回の対戦で関西一位の実力を目の当たりにし、このままでは関西には及ばない事を痛感させられました。

■関西大学と対戦した印象。

フィジカル、スキル、組織力など全てが我々を上回っていました。同時に強豪校のスタンダードを知る良い機会となりました。また、勝つためのビジョンを全員が持ってプレーしている様にも感じましたし、全員が自信を持ってプレーをしているように見えました。

■試合での、良かったところ。

一年生が初めて試合に出て一定の活躍を残してくれた所です。秋の戦力になってくれることは間違いないので試合経験を積んで大学のレベル感に慣れていってほしいです。

また望まぬ結果でしたが、日本一という目標に対しての危機感を春シーズンの初戦で全員が認識できた点も成果の一つであったと感じています。

■試合での、悪かったところ。

上級生のミスが目立ちました。良いリズムで進んでいても自滅でリズムを崩してしまうなど、自分たちのペースに持って行けなかった点が大きな課題に感じました。

■5月5日立教戦への意気込み。

今シーズン初戦を落としてしまったのでこの流れを断ち切るためにも、なんとしてでも勝ちに行きます。



◆インタビュー #32 石井(4年生) (LB)



■2024年度の初戦の感想。

LB以外が下級生中心という中で自分がディフェンスを引っ張って勝利したかったのですが、まだまだ自分も含めて実力不足だなと感じました。

■関西大学と対戦した印象。

昨シーズン関学さんに勝った関大さんは流石だなと感じました。選手層も厚くてメンツが変わっても大差がないのは自分たちに無い部分だと感じました。

■試合での、良かったところ。

フィジカル面で負けなかったところは自信になったので良かったです。あと、下級生と強い関西のチームに挑めたのは自分たちの立ち位置を知れて良かったです。

■試合での、悪かったところ。

ディフェンスとして集まりを大事にしようと言っていたのに試合で集まりが甘くて勿体無いタッチダウンを許してしまったところです。

■5月5日立教戦への意気込み。

東京ドームでの借りを返そうと思います。LBで圧倒します。

◆インタビュー #89 金子(3年生)(TE)



■2024年度の初戦の感想。

相手は去年の関西1位だったので挑戦者として臨んだ試合ではありましたが、オフェンスも去年から出ているメンバーにもかかわらず得点は14点なのは残念でした。

■関西大学と対戦した印象。

関西大学さんは推薦組が少なく未経験者が多いと思いますが、その中で全員が身体も大きく基礎が備わっていたと思います。

■試合での、良かったところ。

今回の試合の目標としていた試合の流れを変えるTDが出来た事です。またオフェンス全体として、前半に起きていたミス修正し後半はアジャストできた事です。

■試合での、悪かったところ。

練習でも気をつけている小さなミスを前半に連発し自分たちから流れを悪くしていました。そして櫻井監督が日々仰っている不用意な反則もチーム全体として出てしまったことです。

■5月5日立教戦への意気込み。

昨年悔しい負け方をしたことを意識して、最後まで気を抜かず自分のTDでチームを勝たせます。

◆インタビュー #15 新楽(3年生)(QB)



■2024年度の初戦の感想。

初戦としては自分的にはあまり良くないスタートを切ってしまったと感じています。この時期にしてはいけないミスが多く出てしまい悔しい試合となりました。

■関西大学と対戦した印象。

関東の大学よりもパワーもスピードも桁違いだなと思いました。戦術的な部分でもレベルが高くアジャストするのに時間がかかってしまいました。

■試合での、良かったところ。

後半徐々にアジャストしていき、ドライブすることができたところ。ロングパスも狙って通せたのは良かったです。

■試合での、悪かったところ。

試合の最初から試合に入り込めていなく、精神的な部分での未熟さが出てしまったところ。いつもならないミスをしたり、いつものタイミングでパスを投げなかったりと。普段通りのプレーができなかったのが悪いところでした。

■5月5日立教戦への意気込み。

結果にこだわりたいです。試合に勝つためのクォーターバックを心がけます。試合の入りから相手を圧倒できる様に、この1週間入念に準備していきたいです。



◆インタビュー #54鈴木颯良(1年生)(OL)



■2024年度の初戦の感想。

半年近く試合をしていなかったもので、とても緊張しました。試合は1シリーズやると試合の雰囲気慣れることができ、その後は思い切って動くことが出来たと思います。高校の時に比べて1Qの時間が10分から12分になったので、試合の時間がとても長く感じました。自分が試合に出るときにTDが取れなかったのが悔しかったです。やっぱりアメフトの試合はとても楽しいと感じました。

■関西大学と対戦した印象。

関大のディフェンスはパワーもスピードもある上に、難しい動きをしてくるのでとてもやりづらかったです。

■試合での、良かったところ。

オフェンスの1プレー目のOZは、自分にとっての大学アメフトのデビュープレイで、死ぬ気でヒットに行きました。綺麗にブロックができたわけではないですが、気合いでドライブしてタイムンの4年生の90番を横転させることができた事です。

■試合での、悪かったところ。

試合の独特の雰囲気もあってか、ブロックミスやパスブロ、コンピネーション等の、小さなミスが度々目立ってしまい、まだまだ課題が山積みだなと感じました。

■5月5日立教戦への意気込み。

相手との一対一で負けな事と、ブロックやアサイメントを完璧にこなし、たくさん点を取れるためにチームに貢献していきます。

◆インタビュー 櫻井監督

■2024年度の初戦の感想。

GW期間序盤の中、関西遠征でのご支援ご声援を賜りましたご父母及びOBOGの皆様、誠にありがとうございました。大学でのフットボール経験値が少ない選手が多く出場する中で、スコアとしては敗戦となってしまいましたが、現状のチーム及び一人ひとりの立ち位置を再確認する機会となりました。

■関西大学と対戦した印象。

オフェンス、ディフェンス共に、テンポが非常に良く、フィジカル等で劣勢の本学がやらなければいけない・やらなければいけないことをやられてしまった印象です。あとは、関西学院さんや立命館さんとはまた違った関西の雄としての運動能力が高い選手が多くいることを改めて感じました。

■試合での、良かったところ。

初戦の感想でも記載をした通り、大学フットボールの試合が初めてや経験の浅い選手が多く出場し、かつ関西大学さんという強豪と試合(翌日の合同練習含め)をすることができ、日頃チーム内で練習しているだけでは認識しにくいことに気づきを与えていただいたことです。

■試合での、悪かったところ。

各人の日々の練習や意識で防げるミスやイエローフラッグが多く出てしまったこととなります。フットボールはモメンタムに左右されるスポーツですし、特に本学は勢いに差が出てしまうチームです。今一度、細かいところから当たり前のレベルを高めていきたいと考えています。

■5月5日立教戦への意気込み。

今年度から変更となる全国大学選手権において、本遠征の関西大学さんと戦う可能性はありますが、そのステージにいくためには秋リーグ戦において必ず倒さなければいけない相手です。昨シーズンでの悔しい敗戦、そして同じく90周年を迎えたルーツボウルということで、スタートからフィニッシュにこだわったゲームとします。引き続き、ご支援ご声援のほど宜しくお願い致します。

◆インタビュー 高橋ヘッドコーチ

■2024年度の初戦の感想。

まずはご来場頂いた父母の方々やOB・OGの方々に御礼申し上げます。試合中の大きな怪我人がなかったことは何よりですが、結果は結果として受け止め、次戦まで短い期間となりますがよい結果を掴める様、課題への取り組みに努めます。

■関西大学と対戦した印象。

QB/須田選手のリーダーシップ含めた能力の高さ、ラインマンの大きさが印象的でした。加えて、RB陣の層の厚さを感じました。やはり昨年関西学院大学に勝利したチームですので、戦前の予想通り、個々の能力は非常に高かったです。

■試合での、良かったところ。

春の初戦で関西の強豪校と試合をすることで、個々人の立ち位置が明確になったことが収穫です。勝敗も重要な点では御座いますが、本試合で得た経験を各人の成長に繋げたいと考えます。

■試合での、悪かったところ。

フットボールにおいて、ゲームの初手は非常に重要なポイントとなります。1stドライブで、オフェンスは3rd down out、ディフェンスはTDを許すこととなりました。ゲームへの準備が象徴されるポイントですので、次戦以降は1stドライブに拘ってプレーを遂行します。

■5月5日立教戦への意気込み。

関西大学戦後に学生には伝えましたが、立教大学戦はチームとしてどう勝ち切るかに重点を置くゲームとなり、加えて、立教大学・早稲田大学とは日本のフットボールのルーツ校のプライドをぶつけ合うゲームとなります。"GRIFFINS"らしさを体現し、勝ち切れたと言える様、準備して参りますので、引き続きの御支援・御声援を宜しくお願い致します。



明治大学アメリカンフットボール

GRIFFINS



2024年度4月号-2-6

明治大学体育会アメリカンフットボール部グリフィンス父母会

◆Photo

父母会にて、試合風景を撮影しております。今回の撮影は近藤さん、高橋さん、佐尾山さん、岩崎さん
でしていただきました。皆様、お疲れ様でした！





明治大学アメリカンフットボール

GRIFFINS



2024年度4月号-2-7

明治大学体育会アメリカンフットボール部グリフィンズ父母会



■次戦

2024年5月5日 14:00 アミノバイタルフィールドで立教大学との対戦です。
昨年の東京ドームでの対戦で悔しい思いをした**GRIFFINS**。

インタビューのコメントにもありましたが**NEW GRIFFINS**は立教戦に対し、モチベーションアップしているのは、明らかです。

関大戦の経験を生かしスキルアップした**GRIFFINS**の試合を皆様の熱い応援でサポートしましょう！

Go ! GRIFFINS.